

「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう
この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえで歌おう

80 ほめたたえよ

ほめたたえよ 新しい歌で

ほめたたえよ 朝に夕に

義なる主に向かい 力ある限り

義なる主に向かい 力ある限り

ほめたたえよ 新しい歌で

ほめたたえよ 朝に夕に

新聖歌505番 「主 われを愛す」

1 主 われを愛す 主は強ければ

われ弱くとも 恐れはあらし

* わが主イエス わが主イエス

わが主イエス われを愛す

2 わが罪のため 栄(さか)えを捨てて

天(あめ)よりくだり 十字架(じゅじか)につけり * (くりかえし)

3 御国(みくに)の門(かど)を 開きて われを

招(まね)きたまえり 勇(いさ)みて昇らん * (くりかえし)

4 わが君イエスよ われを清めて

良きはたらきを なさしめたまえ * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌202番 「一度 死にしわれをも」

- 1 一度 死にしわれをも イエスは生かしたまえり
咎(とが)と罪の代わりに 新たなるいのちあり
* 時の間(ま)をも惜しみて きみはわれと語ろう
きみはわれを放(はな)たず われはまた主にぞつく
- 2 流れ落つる涙も 肩にになう荷物も
君は知りて憐れみ 愛の御手のべ給う * (くりかえし)
- 3 うめき叫ぶ夜(よ)はなし 罪とえにし断(た)ちし身
み座に近く安らい 天つ歌 つねに聞く * (くりかえし)
- 4 病めるわれに手を置き 弱きところ強くし
まがに幸に励ます 主イエスこそ神にませ * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン